

山行報告書

報告書作成

2006年12月13日

山名 [山域]	明神山 1016m [奥三河]	目的と方法	晩秋の風景と岩
登山期間	2006年12月10日(日)	山行形態	日帰り山頂往復
参加人数	4人		

行動記録

12月10日(日) 天候 晴れ無風 気温7 (6:30現)

岡崎市民病院PKG(6:35)===岡崎IC(6:40)===豊川IC(7:00)===乳岩峡入口PKG(7:50、8:05)---鬼岩(9:25、9:35)---六合目三ツ瀬道分岐(10:35)---**明神山山頂**(11:25、12:25)---六合目三ツ瀬道分岐(12:53)---鬼岩(13:40、13:45)---乳岩(14:40、14:45)---乳岩峡入口PKG(15:00、15:30)===うめの湯温泉(15:40、16:35)===岡崎市民病院PKG(18:10)

岡崎IC～豊川IC(400円、ETC早朝割引)

うめの湯温泉(700円)

岡崎～乳岩峡入口(往復130km)

概念図



歩行H、6:55
(健脚向)

標高差、870m

トイレ、登山口
と山頂に有り

日誌

12/10 岡崎市民病院PKGを6時35分出発し時間短縮のため岡崎ICから入り豊川ICで降りて国道151号線を走り三河川合で乳岩峡の道標に従い左折してじきにJR飯田線の踏み切り渡りここから10分足らずで、乳岩峡入口(登山口)に予定の8時より10分早めの7時50分に着く。乳岩峡入口手前に駐車スペース10数台分ぐらいあり、トイレもある我々が到着した時にはもう数台駐車しており、その近くほぼ道の真ん中で若者が、ガス、コンロを出して何やらやっていたが除けてくれる様子もなかったので徐行運転で接触しないように通り抜け奥に駐車した。身支度をして8時05分乳岩峡入口売店前スタート、前夜の雨で濡れている乳岩川の栈敷岩の上を滑らないように慎重に歩く。雨上がりなのに沢の水がすごく澄んでいて綺麗でした。(沢の底が岩ばかりのためか)谷間の雑木林のなかを歩いていき鉄バシゴを数回登っていくと乳岩周回コース入口前が出る。乳岩川につかず離れず、よく踏まれた道を行き少しずつ高度を上げて行く。この辺の登山道にイモの木の葉が登山道に沢山落ちており、ほのかに甘いイモの香りがして癒される良い気分で歩いていく。(イモの木の葉 H/Aさんに教えて頂いた)やがて沢を渡るが水はほとんど無い。沢の左岸の出で行くとやがて高さ数十メートルはある巨岩の前に出る。ここが鬼岩、ここで休憩していたら、若者が数名きて今日は風もなく暖かくて最高だな～と言って岩登りの準備をする様子だった。我々にとっても最高の山行日和りである。鬼岩を過ぎ巨岩を巻いたり超えたりと、ちょっとスリリングある登降を繰り返していくうちに胸突き八丁の急登が始まるがここが頑張りどころ！尾根に出て右に行けば傾斜は緩くなり15分ほどで六合目三ツ瀬道分岐に出る。ここから左へいったん降りて、起伏の登降を繰り返す。鎖場もあるが迂回も出来る。鉄バシゴを登りきると、[馬の背岩]だ。垂直に切り立った岩の上で高度感があり展望も良い。最後に短い坂を登れば鉄骨の展望台のある山頂に出る。展望台の上では「360度」愛知の山々が眺められた。

展望を満喫したのち山頂では風が少しあったので、山頂から少し降りた所に4～5人座れるスペースがあり風も当たらない日だまりヶ所で昼食をとる。下山は往路を戻り、鬼岩ではロッククライミングを若い人たちがやっていた。乳岩を周回しようと思って行ったが、落石のため通行止め表示があり周回はあきらめ乳岩だけ見学して予定の15時00分下山した。

【感想】明神山 乳岩コースは沢、岩、自然林など十分楽しめるお勧めコースです。ただど雪、雨天時は危険でお勧めできません。今回はほんとに良い天気にも恵まれ又温泉も近くにあり良い山行になりました。